

BILANC

ビラック

公益財団法人 私立大学退職金財団
広報誌 通巻102号
2021年8月3日発行

vol.25

- 理事会・評議員会報告
- 2020年度決算報告

特集
ニューノーマルで様変わり!!
時間のトリセツ



- 目指せ「ムダゼロ」。
整理術で働き方改革
- 在宅ワークを進化させる
3つの留意点
- 「引き算」発想法で
仕事・家事にゆとりを

Inauguration Message	環境変化に強い、安定・堅実な運営を ●小原芳明(私立大学退職金財団理事長).....	3
Special	私立大学等の今を聞く 教育の将来像に向けて 連携強化とシームレスな学びの構築 ●小原芳明(玉川学園理事長・玉川大学学長).....	4
特集	ニューノーマルで様変わり!! 時間のトリセツ	
	▶ 目指せ「ムダゼロ」。整理術で働き方改革 6 ●オダギリ展子(事務効率化コンサルタント)	6
	▶ 在宅ワークを進化させる3つの留意点 8 ●平田久郎(アーツアンドクラフツ株式会社 C&S事業部長・コンサルタント)	8
	▶ 「引き算」発想法で仕事・家事にゆとりを 10 ●尾石 晴(文筆家・ヨガススタジオポスバム代表)	10
Focus	理事会・評議員会開催報告 12	12
	▶ 2020年度 事業報告 ▶ 2020年度 決算報告	
連載	未来を拓く学校人 [第11回] 快拳!! ACジャパン広告学生賞13年連続受賞 ●武蔵大学 社会実践プロジェクト.....	16
新連載	Campus × SDGs [第1回] 意識&行動変革の“起点”に! SDGs+ (プラス) プロジェクト ●法政大学.....	19
	維持会員通信 22 ▶ 学生が制作した公式VTuberで大学の魅力を発信/大阪電気通信大学 ▶ 女子学生目線でマイボトルの活用を呼びかける/甲南女子学園 ▶ 対面授業に向け3.7億円規模のコロナ対策を実施/立教学院	22
連載	働き方新潮流 [第6回] 「睡眠負債」を溜めずに生産性UP! ●枝川義邦(早稲田大学理工学術院教授).....	24
Information	▶ 新交付率及び第12次掛金率の適用 26 ▶ 退職金等に関する実態調査を実施 ▶ 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた体制 ▶ t-マネージャの帳票のファイル形式が変更 27	26

BILANC(ピラック)とは、“つり合い”“均衡”を意味する「バランス」の語源となったラテン語で、当財団と維持会員が、バランスを保ちながら、ともに歩んでいきたいという思いを込めています。

表紙: Tavarius / Shutterstock.com (タイ・パツタルン県タレノイ湖畔のツインハウス) 裏表紙: Min C. Chiu / Shutterstock.com



環境変化に強い、 安定・堅実な運営を

Inauguration Message

私立大学退職金財団理事長 **小原芳明**

このたび、理事長として2期目を務めることになりました。歴代の理事長の思いを受け継いで、守るべきところは守り、変えるべきは積極的に改善する気持ちでのぞみ、1期目を経て、2期目はこの姿勢と結果がより一層求められると感じております。

今回のパンデミックによって私学を取り巻く環境も大きく変化しました。米国で歴史ある大学が閉校の道を選択したというニュースも対岸の火事ですまされません。また、中国発

のインフレリスクも懸念されており、これらの影響が日本にも及ぶとなれば、インフレに強い財政方式とはいえ、その対処方針が問題になってくるはず。このような課題に予め備えるため、評議員や理事、監事、そして維持会員の皆さまの協力のもと、持てる力を注いでいきたいと思っております。

当財団の使命である安定かつ堅実な運営を念頭に、維持会員の皆さまのご期待に添えるよう組織運営に努めてまいります。

profile ... (おばら・よしあき) 学校法人玉川学園理事長、玉川大学学長、玉川学園学長。幼稚園から高等学校までの12年間一貫教育や、3歳・6歳からの日英バイリンガル教育などを次々に導入。2019年より私立大学退職金財団理事長。

教育の 将来像に向けて 連携強化と シームレスな学びの構築



玉川学園理事長・玉川大学学長
小原芳明

キャンパスの意味が転換!?

新型コロナウイルスの感染拡大がきっかけとなって、今後、大学のあり様は大きく変わっていくのではないのでしょうか。もちろんそのきっかけは、オンライン教育です。

1990年代の後半に、「インターネットが完備されることで大学へ通わなくても知識を得られるため、キャンパスはいらなくなるのではないか」と予測した書籍が出版されました。実際にキャンパスがなくなることはありませんでしたが、皮肉なことにコロナ禍によってその世界が現実味を帯びてきたように思います。

外出自粛によって多くの大学がオンライン講義を導入。一時的とはいえ、キャンパスから学生が消えました。コロナ禍での今回の処置は緊急避難的なものですが、オンライン講義に可能性を感じた大学は少なかつたと思います。玉川学園としても、オンラインに適した教育法や、機器をはじめとしたハードに関する調査

研究の必要性を感じて「EdTech and Contents Center」の設置を検討しているところです。

1990年代後半は、オンラインによる教育を具体的に検討できるほど、ネットワーク環境や通信技術が進んでいませんでした。それが今や5G(ファイブジー)時代となり、さらにこれからの6G(シックスジー)の時代になれば、通信環境は大きく進歩します。これによりオンライン講義が広く普及すれば、私たちが慣れ親しんできた“校舎があって、学生が通う”という大学のイメージは過去のものになり、大学は知識の情報発信基地となっていくかもしれません。

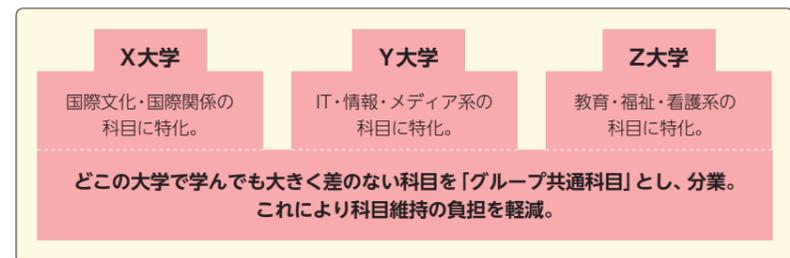
大学は戦略的な連携強化を

大学へ通う必要がなくなれば、通学距離という壁がなくなり、学生は好きな大学で学びやすくなります。さらに、履修証明が各大学共通のものとして確立されたならば、124単位すべてを一つの大学で履修する必要性も薄れていきます。

その結果、「この単位はA大学で、この単位はB大学で」といったように複数の大学で単位を取り、C大学の卒業生というブランドが欲しいために学士はC大学で取得する学生が出てきてもおかしくありません。

また、履修証明が共通化されれば、

●図表① 大学間の連携(グループ化)のイメージ



※取材内容をもとに編集部で作成

科目ごとに学生数の偏りが出てきます。A大学のある科目は分かりやすくして単位も取得しやすいとなれば、当然、学生が集まるからです。そうすると、大学は全科目を維持するのが難しくなります。そもそも学生を確保することができない大学も出てくるはずですよ。

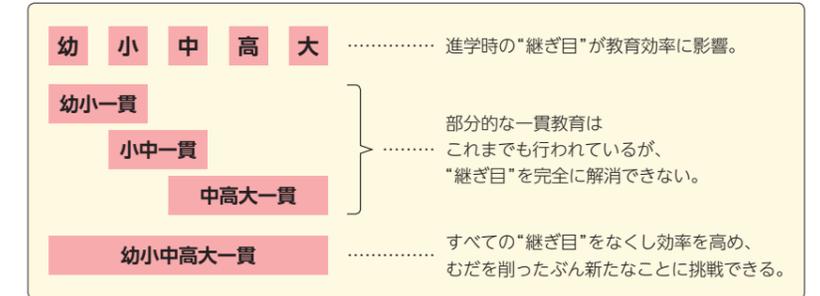
このような難局を乗り越える戦略の一つが、大学間の連携(グループ化)だと考えています。大学の科目を、“その大学でしか学べない”ものと“どこの大学で学んでも大きく差はない”ものに区分し、後者をグループ化した大学で分業していこうというものです(図表①参照)。難局を乗り越えるための一策として吸収合併が検討されることもあります。吸収合併では、吸収された大学の建学の精神は失われてしまいます。共通化できる科目を各大学で負担し合うグループ化であれば、建学の精神が失われることはありません。加えて、その大学でしか学べない科目を設置することで、大学の特色を出すこともできます。

修得主義の要素をプラス

私は以前から、義務教育段階において履修主義に修得主義の要素を導入するべきだと主張しています。理由はいろいろありますが、例えば、高等学校や大学の入試は修得を前提にしているからです。もちろん社会も実力主義です。実力をどれだけ身につけているかが問われるわけです。

しかし、日本の義務教育は小学校から履修主義ですから、教育課程の授業を“受けさえすれば”内容が修得できていなくても進級できてしまいます。ここに問題点があると考えます。一生懸命勉強する子供は着実に力を伸ばしていきます。一方、「学校に来るだけでいい」といわれて放置された

●図表② 教育の効率を高めるには



※取材内容をもとに編集部で作成

子供は、気が付いたら九九も満足にできないまま中学校が終わっていたということになりかねません。

義務教育の9年間で両者の間に生まれた学力の差は、容易に埋められるものではありません。実際、九九ができないまま進学してしまい、苦勞する生徒の話聞いたことがあります。高校の授業についていけないことに気付いたとしても、教師には相談しづらいでしょう。友達に聞くのも恥ずかしいかもしれません。誰からも助けを得られないまま時間が過ぎていけば、ますます授業から遅れていき、周囲との差は開いていく一方です。その結果、不満がたまり、はげ口を求めて荒れていく生徒が出てきてしまいます。これは、履修主義が引き起こした悲劇と言えるかもしれません。

海外では小学校1年生から留年があり、教師、子供、親という三者の共同責任であることを認めて、留年させるのだそうです。

日本では、社会性を身につけ、広く多様な児童・生徒の発達段階における個にあった資質・能力の育成を図るという観点から、現在の履修主義を採用しているとも言えます。一方、教育の目標達成、学習の内容を修得させる修得主義は、留年とまで言わずとも早くやり直しが利く方法です。であれば、履修主義に修得主義のメリットを加えたほうがいいでしょう。

進学の“継ぎ目”をなくす

もう一つ、教育の課題を挙げるなら、幼稚園、小学校、中学校、高校、そして大学と進学するにあたり、部分的には一貫教育があるとはいえ、その継ぎ目が教育の効率を低下させていると考えています。公教育はさまざまな児童・生徒に対応する必要があるのが難しいと思いますが、これを私学で、幼稚園から大学までの一貫教育を行えば、継ぎ目が原因で学習が遅れる教科の受講タイミングなどを調整することができます。積み重ねてきた学びを引き継げるので、教育効果も高められます。さらに、学校法人で所有している施設を有効利用できるため、経営的負担を軽減することができます。

また、前述の大学のグループ化を進める上でも、義務教育の段階から修得主義を導入し、基本的な力をつけて大学に入学してきたほうが合意を得やすくなるのではないのでしょうか。グループ全体のブランド価値を高める意味でも、大学では修得主義を貫いていくべきでしょう。

教育の価値は本来卒業時点で測られるべきものだと考えています。「入り口」で考えられがちな大学の評価を根本的に改める必要があります。大学での学びを通じて、胸を張って社会にはばたく人材を輩出できる高等教育を目指して行きたいと思っています。

二
ユ
ー
ノ
ー
マ
ル
で
様
変
わ
り
!!

時間のトリセツ

教員に他部署の職員、学生、受験生、それに保護者……。多くの人と接し、業務が煩雑になりがちな大学職員に求められるのが、生産性向上です。そのための時間管理術をお届けします。

目指せ「ムダゼロ」。整理術で働き方改革

事務効率化コンサルタント **オダギリ展子**



(おだぎり・のぶこ) 事務効率化コンサルタント。特許事務所事務業務のリスクヘッジや効率化のノウハウを身につける。その後携った貿易事務で業務の効率化と質の向上を追究し、過去の担当者の月100時間超の残業をゼロにした。現在は、講演やセミナーなどでも活躍中。著書に「事務ミスがない人の図解整理術(書類・メモ・データ)」「三立書房」、『図解デスクワーク整理術(三立書房)』など、多数あり。

乱雑なデスクに業務効率化の未来なし

皆さんの職場は、きちんと整理整頓されているでしょうか。なぜこのような質問をするかというと、デスク周りの環境を整えることで、業務効率を上げ、生活の質まで向上させることが可能だからです。私自身、多いときには残業が月100時間超となる業務を引き継いだことがあります。この残業をゼロにすることができました。これは前述したように、デスク周りの整理整頓を徹底したことが大きかったと思います。

つまり、デスク周りをマネジメントできると、業務が効率的に行

われ、結果としてワークライフバランスも整えられるのです。

職場が散らかっていると、業務を進める上でさまざまなデメリットが発生します。以下、代表的なモノを3つ挙げてみましょう。

まず、必要なモノを取り出す際に探すというムダな時間と労力が発生し、当然この間は業務が滞ります。こういった小さな積み重ねが大きなタイムロスとなるのです。

2つめに、ミスが起こりやすくなります。重要な書類、参考資料、USBメモリなどを紛失するリスクも高まります。また、作業しにくい環境だと、照合などの確認作業も疎かになり、大きなミスにつながる可能性もあるでしょう。

「散らかった職場を見て見ぬふり」がミスを誘う!

3つめに、多くのモノが視界に入ると集中力や思考力が削がれ、業務効率が下がります。散らかった環境下では、無意識のうちにストレスが溜まり、仕事に悪影響を及ぼしても不思議はないでしょう。

デスク周りをスッキリさせ、これらのデメリットをなくすことで業務をスムーズに進めたいものです。

整理整頓を促す3つの鉄則

では、今後どのように職場を整えていけば良いかということになりますが、そのための鉄則を3つご紹介します。

1つめは、「不要なモノを撤去すること」。これは、自分の業務に「必要か否か」という視点で判断するに尽きます。

2つめは、業務で必要なモノを「カテゴリーごとに分類すること」ですが、まずは、デスク周りのどこに置くかを定める必要があります。PCやマウスなどのように置き場所が決まっているモノ以外は、使用頻度が高い順に「デスク上」「引き出しの中」「デスク下」と振り分けていけば良いでしょう。各配置

先では、使用頻度が高いモノほど手前に置くのがおすすめです。左右の配置は、使う手側になると手の持ち替えが起こらずスムーズに。書類に関しては、作業や管理がしやすくなるように、「作業段階と同じ数のボックスファイルを机の上に置いて、該当する段階のボックスファイルに収納・保管」、「プロジェクトごとにボックスファイルやトレイに収納・保管」など、自分の業務内容に合うやり方を考えてみてはいかがでしょうか。

3つめに、「使ったら元の場所に戻すこと」。「つい」という気持ちや元に戻そうとしたときに電話が鳴ったり、来客があったりして、「タイミングを逸した」など、さまざまな理由があると思いますが、これがきちんとできないとデスク周りはますます荒れてしまうのです。

この3つの鉄則は、仕事場に限りならず、台所や居間など、あらゆる場所の片づけに当てはまりますので、ご自宅などでもおすすめです。

手軽なツールで身の周りがすっきり

次に、気軽に手作り・アレンジできる整理整頓ツールをご紹介します。

まずは、ペン立てに廃品をプラスして使いやすくするアイデアです(写真①参照)。用意するのは円柱型のペン立てとキッチンペーパーの芯を適宜カットしたもの。ペン立ては透明の樹脂製がベストですが、綿棒の空容器、お手持ちのペン立てでも問題ないです。ペン立ての中央に前述の芯を立てて入れると、芯の外周にペンが1本程入るスペースができます。

この隙間には「よく使うペン」、

身近なグッズにひと工夫加えるだけで、整理整頓ツールに大変身

写真② その他の整理例



スプーンやフォークなどを収納する「カトラリー入れ」は、文具を収納するトレイとしても使える。



ファスナー付きビニール製ケースに、パンチで穴を開けてリングファイルに綴じれば、小物入れに。



忘れたくないものや細々したアイテムの収納・携帯に適している。書類も同時にファイリング可。

芯の内側には「蛍光ペンのみ」、また「ハサミや定規などペン以外のモノ」など、自分の使い勝手が良いようにルール化すると目的のモノを探して取り出すまでがスムーズになり、時短につながります。

簡単ですぐできる割にリターンも大きいので、おすすめです。

次は、デスク周りの整理にも応用できる100円ショップのラインナップからのご紹介です(写真②参照)。中でもおすすめなのは、スプーンやフォークなどを収納する「カトラリー入れ」を「文具を収納するトレイ」として使うこと。ちなみに、細々した文具の収納には、お菓子の空箱などを再利用して仕切りにするという手も。「ファスナー付きのビニール製ケース」は、パンチで穴を開けてリングファイルに綴じると、携帯にも便利な「小物入れ」に変身。忘れたくない筆記具やメモなどを収納するグッズとして重宝します。

また、在宅勤務の方で、仕事に目が行くと気が散ってしまうスペースや整理しきれない箇所、来客時などに他人に見られたくない部分などがある方は、100円ショップで購入できる「突っ張り棒」と目隠し用の「カフェカーテン」や「布

などで一時的に隠してしまうのも一案です。このアイデアは、書籍の日焼け防止にも有効です。

業務の効率化というと堅苦しく大層なことと思われがちですが、こうしたことも含まれますので、積極的にやってみましょう。

仕事に取り組むための「心の整理術」にも注目

身の周りのモノを整理できたら、「心の整理術」にも着手してみます。仕事に取り組む姿勢作りとして、自分の心を整えるのは大事なことです。例えば、気持ちのオンオフを切り替えるために、仕事を始める前の「ルーティン」を設けてみてはいかがでしょうか。

これは、ごく簡単なことで良く、机を拭いたり、「さてと!」などと声に出してみたりするだけでも、その効果を感じるでしょう。

働く場所が、どのような環境であっても、職場はいわば「自分だけのお城」のようなもの。その場所を極力居心地をよくすることで、さらに仕事への前向きな気持ちを作っていくことは、業務を円滑に進める上でのコツとも言えるでしょう。

在宅ワークを進化させる3つの留意点

アーツアンドクラフツ株式会社 C&S事業部長・コンサルタント 平田久郎



(ひらた・ひさお) ペンシルバニア大学社会学部、東京工業大学大学院 価値システム専攻修了後、外資系戦略コンサルティングファームでコンサルタントとして従事。その後、アーツアンドクラフツ株式会社の創業メンバーとして立ち上げに参画し、現在は、C&S事業部長として同社の事業開発及び業務運営などプロジェクトマネジメントを一手に担う。

移動時間の消滅で生産性が向上

コロナ禍で生活環境が変わり、在宅ワークなど働き方も多様化しました。移動時間がなくなったため、生産性が飛躍的に向上した——これが、私が実感している在宅ワーク導入による変化です。具体的に説明していきましょう。

私はコンサルティング事業部の管理職として働いています。部下は約30人。これまでは、顧客企業を訪問してコンサルティングを行うほか、社内では顧客分析業務や会議、部下の管理や教育などを行うため、日々出勤していました。

在宅ワークとなってからは、顧客とのやりとりや社内会議はオンラインに。往復3時間の通勤時間と、客先に向く移動時間がなく

なった分、社内外の会議を数多くこなせるようになりました。社内業務は通信環境とパソコンがあればできるので、在宅でむしろじっくり取り組めるようになり、部下とのこまめな対話に当てる時間も以前より増えました。

会議は複数連続して設定できるようにしています。多少きつくても、その分、会議と会議の空き時間を一つにまとめることができるので、デスクワークに集中するためのまとまった時間がつくれるからです。このような働き方により、生産性がぐっと上がりました。

業種や職種によっては在宅ワークが馴染まない場合もありますが、適用可能な仕事であれば、時間を有効活用することで、効率は格段に向上すると思います。

ただし、自宅が職場となるため、

オンとオフがあいまいになりがちです。私の場合は幸い書斎があるので、書斎に入ったら仕事モードに、出たらプライベートにと、自分で切り替えるよう意識しています。

管理職が留意すべき3つのこと

以上のように、在宅ワークには大きなベネフィットがあると実感していますが、同時に「落とし穴」もあります。ここからは、管理職として、留意しておいたほうがいい在宅ワークの特徴と、うまく活用するコツをお伝えします。

第一の特徴は、先の例のように「物理的な距離の制約がなくなる」ことです。時間ができて、参加できる会議数が増える分、負担も増えます。「本当に参加する必要がある会議か」を見極めて、数を削ってもいいでしょう。後で録音データや議事録で確認すれば十分だという場合もよくあります。

2つめは「作業風景が見えなくなる」、つまり部下の仕事のプロセスが見えにくくなることです。そのため評価も成果で判断することになります。もともと成果主義を導入していたり、アウトプットが明確な業務であったりすれば問題ありませんが、そうでなければ、評価項目の変更を検討する必要もあ

るでしょう。そのためには、「仕事の定義やフロー」から見直す必要があります。ただ、そもそも在宅ワークになった時点で、対面時とは仕事のやり方は違って来るわけですから、むしろ仕事のフローを見直すのは当然ともいえます。「印鑑のために出社が必要」といったムダな出社はその代表例です。そうならないよう、管理職が部下の仕事を再定義し、在宅ワークに合うやり方を考えて助言してあげましょう。また、在宅ワークに限らず定型業務の場合でも、どこかにムダが潜んでいる可能性もあるので、この機にフローを見直すことをおすすめします。

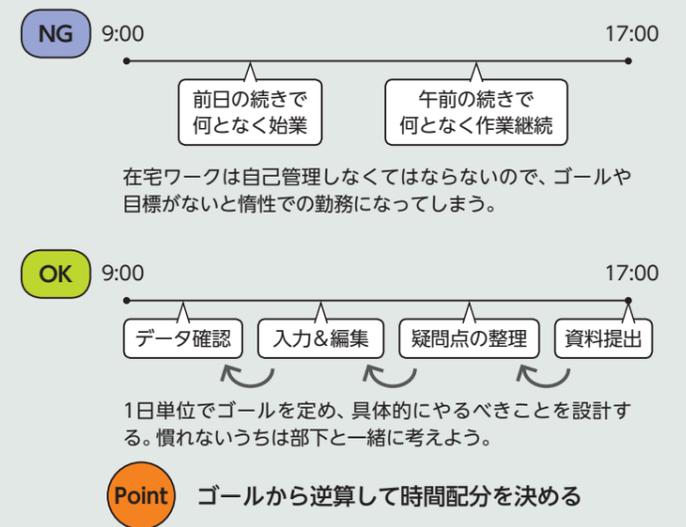
3つめは「空気感を共有しづらい」ことです。オンライン会議は、リアルな会議よりも合理的に淡々と進められるのが利点ですが、感情が見えにくく、一体感を醸成しづらくなります。また出社していれば「顔色がさえない」「いつもとなんとなく違う」など、表情や雰囲気から察して声をかけることができますが、在宅ワークでは、そうしたことを感知しにくくなります。1日数分でいいので、パソコンの画面越しであっても、部下とこまめに1on1で話をするといいでしょう。

部下の自己管理のサポートを

コロナが収束したとしても、オンラインを活用した在宅ワークは続くと思われます。そうした中、個人にも組織にもプラスになる在宅ワークのポイントは「いかにタイムマネジメントをするか」です。本人ができればいいですが、これまで在宅ワークの経験がなく、コロナ

タイムマネジメントのコツは「1日1日の「ゴールを設定」すること

図表② 在宅ワークはタイムマネジメントが命!



禍で突然始めたという場合、管理職のサポートが欠かせません。

一番大切なのは、「1日のゴール(アウトプット)を決める」こと。個人、組織それぞれのゴールを毎日定義し、「17時に提出」など具体的にやるべきことを設計します。ゴールが決まれば、そのための時間配分を考えられますが、最初の設計が間違っていると、その後の時間がムダになってしまいます。慣れないうちは部下と一緒に考え、終業時には今日1日の進捗などを報告してもらいましょう。

在宅ワークは自己管理ができなければ成功しません。それが苦手な人には「ルーティンなど決めごとをつくる」ことをおすすめします。始業・終業時の報告もその一つですが、「昼食後に毎日20分仮眠をとる」のも一案です。昼間に短時間の睡眠をとることは「パワーナップ」と呼ばれ、先進企業では生産性向上策として導入されています。「毎朝7時に30分散歩する」など、生活面でも自分だけのルールをつくとリズムができ、メリハリがつ

きます。

ずっと自宅にこもって、オンラインでのやりとりが続くと、疲労しますし気分も滅入ります。「出社」というルーティンがなくなると、生活も不規則になりがちで、心身の健康にも影響します。それを防ぐには、部下が困っていないか意識して話を聞くようにすると思います。メンバー同士、日々の生活の工夫をオンラインで共有するのもいいですね。タイミングを見計らい、リアルで集まれる機会をつくるのも手です。普段はオンラインの当社も、表彰などで定期的に出社する機会をつくっています。コミュニケーションを円滑にするには「楽しさ」が大切だと思うから、事務所を「イベントの場」としても使っています。在宅ワークは、組織、管理職の差配次第でより有効にすることができそうです。オフィスの役割も個人の働き方も変化を余儀なくされる中、この状況を「改善の機会」と捉え、パフォーマンスの向上に取り組んでみてはいかがでしょうか。

時間のトリセツ

「引き算」発想法で 仕事・家事にゆとりを

文筆家・ヨガスタジオボスパム代表 尾石 晴



(おいし・はる) 外資系メーカーに16年勤務し、うち6年は管理職として活躍。ワンオペ育児をこなしながら残業0時間を達成する。2020年4月に会社員を卒業し、ヨガスタジオ「ボスパムfukuokaスタジオ」の代表、音声メディア「voicy」トップパーソナリティとして活躍中。著書に「やめる時間術 24時間を自由に使えないすべての人へ」(実業之日本社)など。

時間の使い方は「自分の人生」の選び方

このままでは仕事を辞めるか、実家の両親に頼るしかない——。そう追い込まれたのは、出産後に職場復帰して半年経ったころです。

私はいわゆる“バリキャリ”で、出産前は、朝8時から夜10時ごろまで働くのがあたりまえ。勤め先は男女差がなく、自分の裁量で自由に働けました。そうした環境に私自身もとても満足していました。

しかし、産休から復帰後は前と同じように働きませんでした。保育園のお迎えに間に合うように、会社を18時に出る必要があります。仕事は片付いていないので、家に持ち帰って子どもの世話をし寝かしつけた後に再開です。

普段はそれでギリギリ回りました。しかし、子どもが体調を崩すとアウト。イライラが溜まって夫とも喧嘩になり、精神的にも余裕が

なくなってきました。逆説的ですが、好きな仕事を続けるには、クビも覚悟で思い切って何かを変えるしかない、そう考えて時間の使い方を見直すことにしたのです。

結論をお話すると、時間を見直したことで生活や働き方は激変しました。仕事は朝8時半から18時まで。ときには17時に終わる日もありました。持ち帰り残業もなし。睡眠時間は、かつての5時間から最低7時間に増えました。それで成果を出せなくなったら困りますが、むしろ会社は評価してくれて、昇進して管理職になりました。

気持ちにもゆとりができました。子どもの成長や夫との関係に意識を向けられるようになり、ストレスが軽減。また、趣味のヨガでインストラクターの資格を取ったり、自分と同じ悩みを持つママたちに向けてブログを書き始めたりもしました。以前は生活を回すこと以外に頭を使う余裕がありませんでした。

が、自分の人生を広く捉えて楽しめるようになったのです。

「やりたくないこと」を分解すれば解決策が

最初は、時間の可視化から取り掛かりました。お金を管理するとき、財布に入っている金額を把握できていなければ話になりませんよね。しかし、時間については多くの人が、「なんとなく」でやっています。私もこれでは時間を管理できないと思って、1週間分、自分の行動と所要時間をメモしました。すると、30分くらいでサクッと書いていたと思っていたメール作成作業に、実は1時間かけていたことなどが見えてきました。

可視化すると、予定の「引き算」ができます。時間術と聞くと、やりたいことややるべきことを予定にねじ込む「足し算」をイメージする人が多いかもしれませんが、時間は有限です。足すより先に、優先順位の低いタスクをやめたり効率化したりして、時間に空きをつくらなくてはけません。そのために、まず自分の使っている時間を可視化することが必須です。

問題は予定の優先順位の決め方です。これにはさまざまな切り口があります。例えば「短期か、長期か」。短期では大事なことに見

えても、時間軸を伸ばすと、必ずしもそうとは言えないものがあります。私の場合は、子どもの服を買うことがそうでした。子どもの服選びは一時的なストレス解消に役立っていました。しかし、想像以上に買い物に時間がかかっていたり、枚数が増えて管理の手間がかかっていたりしました。その分、子どもと直接触れ合う時間に使ったほうが有益です。

切り口として「やりたいことか、やりたくないことか」も大切です。もちろん、やりたくないからといってそのままやめてしまうと、生活が回らなくなるおそれがあります。

重要なのは、何をやりたくないのかを細かく分解すること。私は「ごみ捨て」が大嫌いでした。ただ、捨てないと家が汚くなるのでやらないわけにはいきません。そこでごみ捨ての何が嫌なのか細かく分解すると、私は「各部屋からごみを集めてくるのが面倒だから嫌い」なのだ気づきました。原因が自覚できれば解決策も見えてきます。集めるのが面倒なら、家のごみ箱一つにして、家族みんながそこに捨てに来るルールにすればいい。こう変えてから、ごみを集める時間が節約できて、同時にごみ捨てへの抵抗感も消えました。

その他にも「衝動か、行動か」「投資か、消費か、浪費か」など、さまざまな切り口があります。自分が重視する切り口で、何を引き算すべきか考えてみましょう。

「やったらいいこと」はやらなくてもいい

プライベートは自分の裁量でかなりの部分がコントロールでき

引き算するべきは「やりたくないこと」「やらなくてもいいこと」

図表② 「引き算」できる時間の見つけ方のコツ②

1日・1年後・10年後の「3つの眼」を持つ		
	5時起き朝活	ヨガ
1日の眼	朝活で1時間得た！うれしい	ヨガをすると筋トレにもなるし、1時間が取れる
1年後の眼	毎日1時間、1年で365時間も睡眠が減ってフラフラ	毎週ヨガをしているおかげで、体重が増えない。精神的にも落ち着いている
10年後の眼	朝活は続かなかった。というか、早起きして何するの？それに早寝も必須条件	ヨガを継続しているから、体型が崩れないまま40代後半になっている

出典：「やめる時間術 24時間を自由に使えないすべての人へ」(図9 3つの眼)

どちらも「1日の眼」で見ればタイムパフォーマンスは高そうでも、長期の視点で考えると、自分にとってやるべきことなのかどうかが見えてくる。

ます。厄介なのは仕事。まずは自分でコントロールできる範囲から引き算を始めることが重要ですが、自分の裁量だけで完結しない仕事はどう考えればいいでしょうか。

私が心がけたのは、プラスアルファの「やったらいいこと」は全部やめることです。それまでは、仕事は100%のクオリティに仕上げるべきだと考えていました。例えば資料なら、補足のデータを入れたり、見栄えを整えたりといった完成度を高める作業。この「やったらいいこと」が業務時間を圧迫していたので、勇気を出して、自分にとっての80%で出してみることにしました。

結果は、意外と誰にも何も言われませんでした。今までは求められる以上を出そうとして、余剰な時間を使っていたのかもしれませんが、もちろん、指摘を受けてやり直すリスクもあります。ただ、相手の求める改善に対応するというほうが、「自分の時間」を得られる確率は高いのです。

自分だけでなく、関係者全員にメリットがある形で提案することも大切です。

私の勤め先では、会議が長引くことが常態化していて、予定を狂わせる一因になっていました。しかし、私がいきなり「会議を短くしてください」と言っても相手にしてもらえません。そこで会議にタイムキーパー役をつくってもらうことから提案。その結果、半年後には私の所属部署は会議が時間通りに終わるようになり、上司の評価も上がりました。

自分の裁量では動かせないことも、関係者が得する形をつくれれば動かしやすくなります。そのために、短期的に自分が汗をかくこともあるでしょう。例えばタイムキーパーをつくる時にも、提案者である私が雑務や調整を行って、一時的に負担は増えました。しかし、長い目で見ると会議時間が短縮されて、私の仕事時間に余裕ができました。これは時間を「長期」「投資」の視点で考えた結果です。

仕事だから時間は自由にならないと決めつけてはいけません。できるところから工夫すれば、うまく時間を引き算できるはず。本当に自分に必要な時間を使いましょう。ぜひ挑戦してみてください。

理事会・評議員会開催報告

2021(令和3)年5月31日に第27回理事会が、6月18日に第23回評議員会、第28回理事会が開催されました。2020(令和2)年度の事業報告、決算等が承認されました。

また、理事、監事、評議員の任期満了に伴う選任が行われ、その後の第28回理事会で理事長、常務理事が選定(重任)されました。

■ 決議事項・報告事項

<p>第27回理事会</p> <p>【決議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 令和2(2020)年度事業報告の承認について 令和2(2020)年度決算の承認について 教職員登録情報の遡及訂正について 評議員会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項の決定について <p>【報告事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 理事長及び常務理事の職務の執行状況の報告について 内閣府に対する事業報告等に係る定期提出書類について 維持会員の状況について 	<p>第23回評議員会</p> <p>【決議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 令和2(2020)年度事業報告の承認について 令和2(2020)年度決算の承認について 評議員の選任について 理事の選任について 監事の選任について <p>【報告事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 教職員登録情報の遡及訂正について 内閣府に対する事業報告等に係る定期提出書類について 維持会員の状況について
<p>第28回理事会</p> <p>【決議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 理事長の選定について 常務理事の選定について 理事長職務代行順序の決定について 	

■ 理事・監事・評議員一覧

※は新任

<p>理事長 小原 芳明 (玉川学園理事長、玉川大学学長)</p> <p>常務理事 徳久 治彦 (最終官職:北海道大学理事・事務局長) 守田 芳秋 (前早稲田大学常任理事)</p> <p>理事 荒川 一郎 (学習院大学学長) 大野 博之 (国際学院理事長)* 兼子 良夫 (神奈川大学理事長・学長) 坂根 康秀 (山内学園理事長) 阪本 浩 (青山学院大学学長)* 村田 治 (関西学院大学学長) 本山 和夫 (東京理科大学会長)</p> <p>監事 大澤 英雄 (国土館理事長) 鈴木 佳秀 (フェリス学院学長) 松岡 弘樹 (東京交通短期大学学長)</p>	<p>評議員 井尻 昭夫 (吉備学園理事長) 加藤 真一 (金城学園理事長)* 木戸 能史 (育英学院常務理事) 佐川 賢一 (明治薬科大学理事長) 篠原 聡子 (日本女子大学学長) 芝井 敬司 (関西大学理事長) 高橋 裕子 (津田塾大学学長) 田中 厚一 (帯広大谷短期大学学長) 中野 正明 (京都華頂大学学長、華頂短期大学学長) 野田 賢治 (浪商学園理事長)</p>
--	---

理事の任期は2023(令和5)年6月に開催予定の定時評議員会まで、
監事及び評議員の任期は2025(令和7)年6月に開催予定の定時評議員会まで。

■ 理事・評議員の退任

2021年 6月18日	理事	滝川 嘉彦 (滝川学園理事長・学園長) 福原 紀彦 (前中央大学学長)	2021年 3月31日	評議員	片桐 武司 (岐阜済美学院理事長)
----------------	----	--	----------------	-----	-------------------

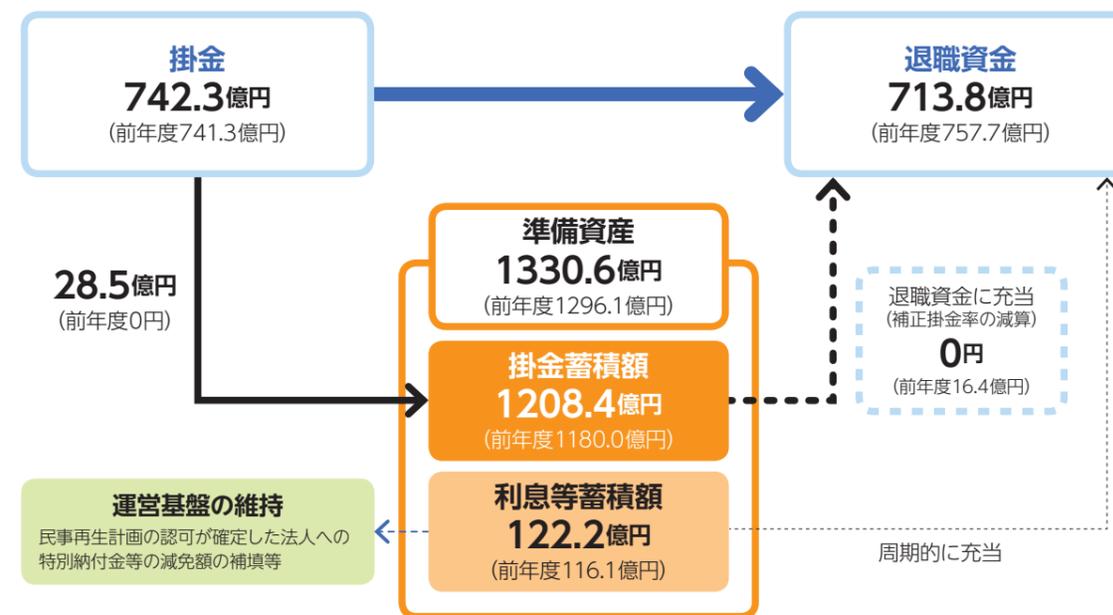
2020年度 事業報告

2020年度は、新規加入法人が3法人、資格を喪失した法人が2法人、合併した法人が1法人あったため、期末の維持会員数は594法人となりました。

登録教職員数については、新規登録者数が前年度より277人増の10,448人、退職者数が前年度より355人減の9,599人となりました。その結果、期末の登録教職員数は前年度より816人増の12万9593人となり、2008(平成20)年度以来の高水準となりました。また、月平均の登録教職員数は、13万7319人でした。

次に財政面では、公益財団法人への移行時の内閣府からの指導に基づき、準備資産を退職資金の1年分相当(約800億円)に近づける方針に則って準備資産を取り崩してきましたが、本年度は退職資金及び特別納付金の合計額が前年度より43.9億円減少し、掛金を28.5億円下回ったことから、その差額は将来の交付に備えるために準備資産として積み立てることとしました(下図参照)。退職資金の発生が予測を下回った原因と将来への影響についての分析を進めてまいります。

■ 退職資金交付事業に係る収支



※掛金には特別納付金を、退職資金には退職資金特別交付金を含む。

維持会員の退職金制度などの実態調査報告書を発行

2020年度の維持会員の退職金制度などの実態に関する調査では、基本項目に加え、懲戒解雇とされた教職員に対する退職金等について調査しました。2020年度も全維持会員より回答いただき、皆さまのご協力に感謝申し上げます。調査結果は12月に「令和2年度退職金等に関する実態調査報告書」として、報告・公開しました。

緊急事態宣言下でも「確実」に退職金を交付

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う政府からの要請等に基づき、在宅勤務などの業務体制の縮小を実施しつつも、退職資金を確実に交付しました。また、理事会等の会議はWeb会議に、事務手続きの解説や説明動画のWebサイトへの掲載、稟議決裁等の電子化を実施するなど、業務執行に関わる体制の整備に取り組みました。

2020年度 決算報告

当財団の財務諸表は、事業報告をもとに、公益法人会計基準に準拠して作成しています。2020年度の資産合計は1988億円、負債合計は1865億円、正味財産は124億円となりました。財務諸表及び財産目録に関しては、独立監査人（公認会計士）の監査で「すべての重要な点において適正に表示している」と報告を受けています。

貸借対照表

流動資産は、654.9億円を保有しています。これは、翌年度以降の交付となる主に3月退職者への退職資金の未払金654.4億円を含む流動負債655.1億円に対応しています。

固定資産の退職資金交付準備特定資産（掛金蓄積分）と、それに対応している（同額である）固定負債の退職資

金交付準備金は、1208.4億円となりました。また、退職資金支払準備特定資産（利息等蓄積分）は、6.1億円を繰り入れ122.2億円となりました。この金額は、一般正味財産のうち特定資産への充当額となります。この結果、2020年度の正味財産合計は、前年度より6.1億円増の123.9億円となりました。

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
資産の部			
流動資産合計	65,494,165,076	70,653,139,362	△ 5,158,974,286
固定資産合計	133,353,022,780	129,871,830,934	3,481,191,846
(1) 基本財産	100,000,000	100,000,000	0
(2) 特定資産	133,156,034,780	129,692,727,746	3,463,307,034
①退職給付引当資産	94,930,000	88,810,000	6,120,000
②退職資金交付準備特定資産	120,843,739,139	117,995,809,252	2,847,929,887
③退職資金支払準備特定資産	12,217,365,641	11,608,108,494	609,257,147
(3) その他固定資産	96,988,000	79,103,188	17,884,812
資産合計	198,847,187,856	200,524,970,296	△ 1,677,782,440
負債及び正味財産の部			
流動負債合計	65,506,720,153	70,663,315,527	△ 5,156,595,374
固定負債合計	120,954,184,099	118,084,628,312	2,869,555,787
(1) 退職給付引当金等	110,444,960	88,819,060	21,625,900
(2) 退職資金交付準備金	120,843,739,139	117,995,809,252	2,847,929,887
負債合計	186,460,904,252	188,747,943,839	△ 2,287,039,587
指定正味財産合計	100,000,000	100,000,000	0
一般正味財産合計	12,286,283,604	11,677,026,457	609,257,147
正味財産合計	12,386,283,604	11,777,026,457	609,257,147
負債及び正味財産合計	198,847,187,856	200,524,970,296	△ 1,677,782,440

正味財産増減計算書

今期の当期経常増減額は6.1億円となりました。これは、運用益から管理経費を控除したものです。また、今期は掛金が退職資金交付金を28.5億円上回りました。

そのため、正味財産増減計算書の経常費用の引当金繰入額には、退職資金交付準備特定資産への繰入額28.5億円が計上されています。

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
(1) 経常収益計	75,147,327,288	76,812,526,239	△ 1,665,198,951
①事業収入（掛金等）	74,231,495,150	74,131,925,160	99,569,990
②退職資金交付準備金取崩額	0	1,639,407,684	△ 1,639,407,684
③特定資産運用益ほか	915,832,138	1,041,193,395	△ 125,361,257
(2) 経常費用計	74,538,070,141	76,115,621,559	△ 1,577,551,418
①退職資金交付金等	71,383,565,263	75,771,332,844	△ 4,387,767,581
②管理経費ほか	304,291,991	342,386,215	△ 38,094,224
③引当金繰入額	2,850,212,887	1,902,500	2,848,310,387
当期経常増減額	609,257,147	696,904,680	△ 87,647,533
当期経常外増減額	0	0	0
一般正味財産期末残高	12,286,283,604	11,677,026,457	609,257,147
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期末残高	100,000,000	100,000,000	0
正味財産期末残高	12,386,283,604	11,777,026,457	609,257,147

キャッシュ・フロー計算書

事業活動によるキャッシュ・フローは、掛金が退職資金を下回るように設定しているためマイナスとなります。今期は掛金が上回りましたが、前年度の未払退職資金の交付のため、マイナス18億円となっています。

なお、事業活動によるキャッシュ・フロー等がマイナスとなり、現金及び現金同等物の増減額が52.6億円の減となりましたが、掛金蓄積額等の準備資産が確保されているため、資金が不足する恐れはありません。

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
事業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,793,039,135	△ 2,941,528,792	1,148,489,657
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,463,307,034	951,213,004	△ 4,414,520,038
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,585,188	△ 3,532,572	1,947,384
現金及び現金同等物の増減額	△ 5,257,931,357	△ 1,993,848,360	△ 3,264,082,997
現金及び現金同等物の期首残高	58,591,983,914	60,585,832,274	△ 1,993,848,360
現金及び現金同等物の期末残高	53,334,052,557	58,591,983,914	△ 5,257,931,357



武蔵大学 社会実践プロジェクト

快挙!! ACジャパン広告学生賞 13年連続受賞

社会とつながり、社会に 問いかける力を養うために

ACジャパンが主催するACジャパン広告学生賞(以下、広告学生賞)は、若い世代が広告制作を通して公共広告への理解を深め、「公」への意識を育むことを目的に、2005年に設立されました。参加校の多数を芸術系大学が占める中、「武蔵大学社会実践プロジェクト」は、13年連続で受賞しています。

2021年、同賞の「テレビCM部門」で奨励賞を受賞したのが、社会学部メディア社会学科3年の望月あみさんの作品『それは「夫婦喧嘩」とは呼ばない』。モラルハラスメント防止をテーマに、被害者に「我慢するのは、もうやめよう。」と伝え、専門の相談窓口を紹介しています。

「決して賞を取ることを目的にしては

いないのです」と話すのは、2004年に武蔵大学社会実践プロジェクトを立ち上げた社会学部長の小田原敏教授です。

武蔵大学は、1922(大正11)年に開学した日本初の私立七年制高等学校である旧制武蔵高等学校をルーツとし、1年次からのゼミと徹底した少人数教育で知られています。教育理念は、「知と実践の融合」。本プロジェクトはこの哲学を受け継ぎつつ、学生が自らの知見や主張を積極的に発信できるよう、実践的な学びを推進しています。

「頭だけでわかってほしくない。講義、実習、体験。この3つを組み合わせることによって初めてメディアを理解できます。本プロジェクトが目指すのは、正課授業とサークルとの中間領域を埋めるような活動です」(小田原教授)

単位取得につながらない活動にもかかわらず、多くの学生が成長するために集まってきます。

社会問題をどう見つけ どう伝えるかが鍵となる

プロジェクトに参加し、初めてCM制作を経験したという望月さんは、「千葉県野田市の小4虐待死事件のニュースがあまりにもショックで、少しでも自分に何かできないかと感じたことが企画のきっかけだった」と話します。虐待が問題となったこの事件の背景には、父親の妻に対する家庭内暴力があったことを知り、企画を提案しました。

「でも、ゼミの学生同士で話したところ、モラルハラスメントについて意外と知られていないことがわかり、『しかし

たら当事者ですら気づいていないかもしれない』と、このテーマに決めました」(望月さん)

コロナ禍ということもあり、プロジェクトの企画会議などはオンラインで行われ、制作はすべて自宅に籠もって一人で担当したと言います。

「お絵かきアプリを使って自分でイラストを描き、パワーポイントや無料の動画編集ソフトを使って編集し、ナレーションもイヤホンの内蔵マイクで自分で録音しました。CMの長さは30秒。早口になり過ぎないように、でも言いたいことを盛り込めるように何度もやり直して、30秒は意外と短いことを実感しました」

受賞は予想外だったと言いますが、「自分なりに頑張りました。ただ、もう少しうまくできたのじゃないかとも思います」と話す望月さん。それに対し、「足りない部分があるのは成長の証し」と小田原教授はにこやかに返します。

好奇心旺盛な学生のため 実践的な学びの場を

武蔵大学社会実践プロジェクトには、広告学生賞に参加する「ACプロジェクト」のほか、学生が制作したドキュメンタリー番組を放映する「J:COMプロジェクト」、大学紹介映像などをテレビやYouTubeで配信する「武蔵テレビプロジェクト(ムサシテレビ)」があります。



望月あみさんのCM作品『それは「夫婦喧嘩」とは呼ばない』

授業からこぼれ落ちた 大切な学びを社会と つながりながら実践する

社会学部長/教授 小田原 敏さん



プロジェクト発足の経緯について、小田原教授が説明してくれました。

「関西の大学で教鞭を取っていた私が、非常勤で勤務していた武蔵大学の学風に惹かれて移ってきたのが2004年。それまでの10年間、メディア論の講義やノンリニア編集機を使った制作実習を担当してきました。しかし、これからは従来の社会学だけでなくメディアスタディーズが重要になるだろうと、メディア社会学科という新しい学科の設置と同時に移籍してきました」

新設されたメディア社会学科を希望してきたのは、好奇心旺盛な学生たち。講義だけでは物足りないという雰囲気

がひしひしと伝わってきたそうです。「そこで実践の場をつくらうと、2006年に立ち上げたのが『武蔵ラジオ』です。オープンキャンパスの時、来場した高校生にラジオ機器を配り、学内でコミュニティFMの番組を配信したのです。その後、もう少しインパクトのあることをし

たいということで始めたのが『ムサシテレビ』です」(小田原教授)

コンテンツ制作から編成、生放送まで、学生が主体となって手探りで進められていきました。しかし、正規の授業ではなかったために予算が下りず、サークル活動のような補助金も出ませんでした。

「お金がなければ活動を続けられませんが、学生に負担させるわけにもいきません。最初は直談判して臨時予算の中から学長の決裁で20万円ほどの実費を出してもらいましたが、翌年からは、正式な予算が下りるよう大学に働きかけることにしました」(小田原教授)

「講義・実習に準じたものであるか」「学生にとって教育的効果があるか」「社会にとってなんらかの有用性があるか」などの条件をクリアして、2008年からは正式なプロジェクトとして認められ、予算が計上できることになりました。

「広告学生賞に参加するようになったのもこの頃からです。参加希望者を募ったら、経済学部・人文学部・社会学部の3学部からたくさんの学生が集まりました。まずは街に出て広告やメッセージを調査してもらい、『自分たちは何を社会に発信すべきか考えてごらん』と、問題発見力を育むことに注力しました。その基礎ができてから実習に移ります」(小田原教授)

夏休みにワークショップを開催した後、学内予選会を行い、上位10作品を本選に提出しました。すると、思いがけ



CM制作を経験し
社会問題への関心が
ますます高まった

社会学部メディア社会学科3年 望月あみさん

高評価を得ることができたのです。

「運良く毎年受賞できていますが、その理由はわかりません。文系大学といっても学際的なので、参加大学の多数を占める美術系大学とは違ったアプローチが評価されていると思います。賞に応募するという出口があるからこそ学生たちも頑張れます。現在は、メディア社会学科の社会学方法論ゼミという実習系のゼミの中で学内選考を行っているため、残念ながら他学科の学生が参加する余地はなくなってしまいましたが、この先も、“社会とつながること”“社会に問いかけること”が目的であることには変わりありません」(小田原教授)

プロジェクトの活動内容に惹かれて入学を希望する学生もいて、卒業後の進路に、広告代理店や制作会社などのメディアに関わる企業や職種を選ぶ学生が増えました。もともと女性やジェンダーをめぐる問題に興味があったという望月さんは、ACプロジェクトに参加したことで、ますますCMや社会問題に対する関心が高まったと言います。

「与えられた枠の中で、いかに無駄な情報を削ぎ落として、自分の思いを伝えるかを学びました。『この表現はいいな』『自分だったらこうするな』など、テレビCMの見方も変わりました。ゼミではメディア・リテラシーについて学んでいますが、さらに視野を広げて卒論テーマを見つけたいと思います」

「キャリア教育という側面からも、経

験するのとしらないのでは、仕事の向き不向き、といった社会に出た後のイメージに差が出てくると思います。どの職種でもメディアと切り離して考えることはできません。身の回りの問題について興味・関心を持つことは大事なので、このプロジェクトで身に付けた力は社会に出てから役に立つはず」(小田原教授)

豊かな土壌に種を植える
大学教育の根底を体現

テレビからYouTubeなどの動画配信やSNSへのシフトなど、メディアの在り方は時代と共に変化しています。同様に、大学教育の在り方も時代の変化に合わせて問い直す時期にきているでしょう。

「現在の大学教育はアドオン方式で、あれも大事、これも大事と言って上乘せする傾向にあります。ところが、1コマ90分×15週の中でできることは限られ

ており、以前から取り組んでいる学びに新しい学びをどんどん付け足していけば、本来のベースの部分から必ず欠落する部分や弱くなる部分が出てきます。例えば、データ分析の手法を学習して論文を書かせたとして、データ分析は素晴らしいけれど、仮説の立て方がすごく弱いとか」(小田原教授)

だからこそ、授業でもない、サークルでもない、その中間の空白地帯を埋める社会実践プロジェクトのような場が必要なのだと続けます。

「もちろん、プロジェクトの中身は社会やメディアの環境に合わせて変えていく必要があるでしょう。今や、スマホ一つで誰でも簡単に動画編集ができる時代です。大切なのは、テクニカルなスキルではなく、社会を見る目を養い、考え、伝える力。これまで以上に企画を立てる力やストーリーを描く力が問われます。大学で学ぶということは、単に技術を身に付けたり、ものの見方を学ぶという以上に、頭の中にいろんな種を植える作業だと考えています。その先に、発芽させて、有機的に結合させたり、あるいは影響し合ったり……。本プロジェクトは、種が豊かに花開く土壌を用意する役割を担っており、この姿勢こそが大学教育の根底だと思います」(小田原教授)

学校散歩

創業者・根津嘉一郎寄贈
モダンイズムを感じる大講堂

東京都練馬区に本部を置く武蔵大学。江古田キャンパスの中でも最も風格のある「武蔵学園大講堂」は、1928(昭和3)年に建築家・佐藤功一氏の設計により、旧制武蔵高等学校の講堂として建築された鉄筋コンクリート造りの近代建築です。現在は入学式・卒業式などに使用され、2階に設置された「武蔵学園記念室」には、学園の歴史資料が収集・整理・展示されています。



武蔵の徽章は白雉がシンボル。記念室に展示されている白雉の剥製は、創立50周年の際に寄贈された。



法政大学

意識&行動変革の“起点”に!
SDGs+(プラス)プロジェクト



「SDGs+プロジェクト」を推進する総長室付教学企画室の課長・田中一平さん(左)と荒井俊樹さん(右)

トップ肝いりの
取り組みとしてスタート

15学部38学科を擁する総合大学として多彩な学びを提供する法政大学。「自由を生き抜く実践知」を大学憲章とし、約3万人が学んでいます。

同大が地球環境との調和に注力し始めたのは1999年で、国連サミットでSDGsが採択された2015年よりもずっと早い時期でした。この年に、環境憲章の制定および持続可能性をコンセプトにした人間環境学部を新設。以来、「持続可能な地球社会の構築への貢献」をキーワードに、多彩な取り組みを進めてきています。

その流れが加速したのは2018年のこと。SDGsへの取り組みに関する総長ステイメントを発表し、廣瀬克哉総長(当時、副学長)による「SDGs+(プラス)プロジェクト」が立ち

上がったのです。

総長室付教学企画室課長の田中一平さんは、「SDGsの考え方は、これまで本学が取り組み続けてきた方向性と一致します」と、活動が本格化した背景を語ります。さらに、“SDGs+”としたのは、「既存のSDGsにとらわれず、法政大学ならではの貢献をプラスしていこう、という思いを込めています」と続けます。

プロジェクトリーダーには、SDGs研究者であるデザイン工学部建築学科の川久保俊教授(当時、准教授)が就任。田中さんは「理解あるトップと、実践できるリーダーがいたからこそ、スムーズに進みました」といいます。

また、SDGsのゴールである2030年は、法政大学創立150周年にあたる年でもあります。そうした背景からも、総長肝いりの活動としてスタートを切りました。



「ゼロからつくるのではなく、『今あるものを活用しよう』ということからプロジェクトが始まった」と当時を振り返る荒井さん。

しかし、SDGs関連のプロジェクトを推し進めるといっても、範囲が広く、どこから手をつければよいか迷ってしまいそうです。田中さんは、「問題意識を高めると自然と照準が定まり、実際に『なにができるか』『どういったことをしたいのか』が見えてきます」と話します。

「SDGs科目群」履修者には 修了証が授与される

こうして練られたプログラムの内容は多岐にわたりますが、特徴的なのが、SDGsに関わる科目群を学部横断型で学習できるというもので、2019年度にスタートしました。総長室付教学企画室の荒井俊樹さんは当時をこう振り返ります。

「SDGsの内容は幅広く、どう取り組むか悩みました。ただ、17の目標すべてに貢献しなくてはならないと捉えるのではなく、大学として何ができるかを考えながら得意分野を活かす方向で練っていきました」

外部の力を借りるだけでなく“今われわれが持っている資源でできることはないか”という発想から展開しているのが、学部を横断して履修できる「SDGs科目群」です。この科目群から所定の単位を取得した学生には、サティフィケート(修了証)が授与されます。法政大学ならではの取り組みといえます。

「SDGs科目群」とは、15学部それぞれに、SDGsに関連する科目を挙げてもらい、それを教学企画室が集計して体系化したものです。例えば法学部の科目「消費者法」は、ゴール8「働きがいも経済成長も」とゴール12「つくる責任つかう責任」に該当し、文学部の「宗教学」という科目はゴール16「平和と公正をすべての人に」に該当します。

「2020年度は721科目にものぼり、学生は自分の関心に

合わせてSDGsの体系に沿って履修ができます」(荒井さん)

対象者は、2019年度4月以降に入学した学生全員。2年生以上なら他学部の科目も履修可能です。修了証の取得条件は、「SDGsオンライン解説動画(30分)を視聴すること」「SDGs科目群から合計12単位以上修得済みであること」の2点を満たしていることです。

田中さんは「解説動画を見て、SDGsの全体像と、個別科目の特性や環境との関連性を理解していることが大事」だといいます。また、条件ではありませんが、SDGs科目群から取得した科目が合計6ゴール以上に対応していることが望ましいとしています。

申請期間は、春学期(4月まで)、秋学期(10月まで)の年2回ありますが、申請ができるのは在学中に1回だけです。教学企画室が条件を満たしているか確認した上で、学生に修了証が発行される、という流れです。

「1期生」は6名で、田中優子総長(当時)から直接手渡された授与式が、2019年11月に行われました。2020年度秋学期までに累計33名が取得しています。

地球環境の体系的な理解は 今後の社会に必須

荒井さんは「SDGsを体系的に理解しているということは、社会に出る上で必要な能力となるでしょう」と、修了証を取得した学生にとってのメリットを語ります。

さらに、就職活動の際などでアピールできる点も見逃せません。ただ、田中さんが「修了証自体は、単に見える化しているだけです」と指摘するように、大切にしているのは、学生たちの意識・行動の変化です。

「各学生が『自分たちが学んでいることはSDGsにつながっているんだ』ということを理解してもらうことがこのプログラムの目的です。自分が履修している科目が、例えばゴール4とゴール7に関係しているのだと気づけば、同じ学びでも違う意味を持つようになります」と田中さんは、学生の行動変容にも期待します。

荒井さんも「やはり多くの学生たちにこのプログラムを受講してもらいたい」と願う一方で「ただサティフィケートを取得すればいいのではなく、その先に、社会にどうつながっているのか、社会にどう活かせるのかを学生たちに示しながら、事前にこれを取得する意義を理解した上で参加してもらいたい」といいます。

学生からは「SDGs科目群で学んだことは、課題解決というのは一筋縄ではいかないということ。1つのゴールだ

けの解決を目指す、どこかに矛盾が生まれる。ただ、17のゴールがあるので多様な方向からアプローチできる重要性に気づかされて、同時に多くの協力が必要であることを学んだ」といった声が上がると、手応えも上々です。

田中さんと荒井さんは、「SDGs科目群」の存在を、学内外にもっとアピールする必要性を感じています。

「SDGsの社会認知度は、まだ不十分です。そこが上れば、学生の認知度も上がるでしょう。この科目群は、特にSDGsを意識して新設した科目ではなく、既存の科目を体系化したものなので、学生にとってハードルは高くありません。ですから、どんどん活用してもらいたい。同時に、法政大学の学生はSDGsを学ぶ環境が整っているのだということ、社会にもっと認知してもらおう私たちがしっかり広報していきたいと思います」(田中さん)

企業や自治体、地域と連携し さらなる拡充へ！

本プロジェクトは、SDGs科目群に代表される「教育」という軸の他に残り3つの軸がありますが、ここでは「社会貢献」と「学生」に的を絞って取り組み例を紹介していきます。

まず「社会貢献」については、学外の人でも参加できるオンライン講座「SDGs入門」の開講が挙げられます。初回に約5千人が受講するほど好評で、毎年開講しています。

2020年には協定を結ぶ関西大学と、「持続可能な未来のために私たちができること」をテーマに学生コンテストを開催。25件の応募があり4件が入賞しました。コロナ禍で会場は各大学でしたが、今年は状況が許せば両大学が集まって発表し、意見交換なども計画しています。

また、「SDGsは次世代につないでいくことが大事」という視点から、札幌市、北海道大学、法政大学の3者でSDGsの伝え手を目指す講座を開き、その学びを札幌市の子どもたちに伝授しました。

都内の活動としては、「HOSEI SDGs WEEKs」があります。第一回(2019年)は、市ヶ谷キャンパスを会場に、企業講演やゼミ生のポスターセッションを実施。2020年はオンラインで企業や自治体のSDGsの取り組み事例を紹介しました。

次に「学生」ではどのような取り組みを進めているのでしょうか。2021年4月からは、全学部の学生を対象に「SDGs実践知ゼミナール」を開講しています。少人数で学びながら議論し、行動を模索する全6回のプログラムです。



2019年度末に行われたサティフィケート授与式の様子(提供:法政大学)



荒井さんは、現在は自由参加のこのゼミナールを、「修了証を手にした学生向けに、よりレベルの高い内容に発展させたい」と希望を語ります。さらに「一つひとつのプログラムについてはノウハウが蓄積しつつあるので、今後はパートナーを含めて、大きな枠組みをつくっていきたい。本学を軸として、企業と企業、あるいは企業と自治体がつながるようになれば、より新しい効果が生まれるかもしれません」と期待します。

田中さんも「次のアクションにつなげていくにはどうしたらいいかが、今後の課題。修了証取得者同士が交流できるような仕組みも考えていきたいですね」と、さらなる充実を目指します。

ダイナミックに展開していくためのコツを伺うと、荒井さんは「企業や自治体の協力により、多様な視点でSDGsを学ぶことができています」とパートナーシップの大切さを強調します。他方、田中さんは、「これまで企業や自治体とは就職中心の関係でしたが、SDGsを横串にして多様な連携が増えてきました。またオンラインでの開催は、海外大学との交流機会の増加につながっています」と、学外、国外でも連携が広がっている様子をよこします。

3万人もの学生数を抱える法政大学の取り組みが、今後学内外に浸透していけば、社会に与える影響も少なくないはず。そして同大の取り組みを参考に、後に続く大学が増えれば、持続可能な社会の実現に近づくことができるでしょう。



01 学生が制作した公式VTuberで大学の魅力を発信

- ▶ 法人名 大阪電気通信大学
- ▶ 大学名 大阪電気通信大学



大阪電気通信大学では、学内のさまざまなプロジェクトを大学全体で支える体制を備えています。その狙いは、学生が自由に活動できる環境を整え、学生の発想力を伸ばすことにあります。

その中の一つ、「電ch!(でんちゃん)」というプロジェクトは、学生が映像コンテンツ制作や、アプリゲーム開発などの分野で、プロスタッフのアドバイスを受けながら能力開発できる画期的な活動です。本プロジェクトに関心のある学生なら学部・学科問わず、参加できます。

参加した学生からは「グループ制作の経験は、将来必ず役立てることができると思います。予定通りに進まないときにメン

バーにどう動いてもらうかなど、組織を統率する力が養われました」という感想がありました。

電ch!の主な活動として、大学公式VTuber(バーチャルYouTuberの略。二次元もしくは三次元のキャラクターでYouTubeにて動画配信をする)制作があげられます。2018年、初代VTuber「花野てん」の誕生がその始まりです。このときは動画サイトで人気の「歌ってみた」の配信や、イベント出演などを通して、大学広報活動を行いました。

近年、企業が公式VTuberを導入している事例もあり、先端の技術やノウハウを学ぶことに意義を感じている学生が増えています。プロジェクトに参加した学生は「自

主的に活動している中で、大学公式の動画制作を依頼されることも出てきました。認めてもらえた実感があって、とてもうれしいです」と語っていました。

2020年度には2代目VTuber「初日乃うい」を制作。担当した学生はそのプロセスをこう説明します。

「動画で3Dモデルを動かす際には、スマホアプリや、学内のモーションキャプチャスタジオで動作を撮って、そのデータをゲーム開発エンジンに読み込ませて映像素材にします。そうしてできた映像を編集し、音のノイズを消して、効果音やBGMをつけたら動画は完成です」

「初日乃うい」も初代に引き続き、大学の

広報係として活躍しています。「初日乃うい」は大学の現役学生という設定で、デザインは大学のスクールカラーのグリーンとオレンジを取り入れたものになっています。現在、Webオープンキャンパスでの体験授業や大学施設の紹介映像などに加え、毎週1回ライブ配信を行い、他のプロジェクトやクラブ、学科など大学の取り組みや学生生活を紹介しています。

2020年度は2021年度一般入学試験(前期A・B日程)の概要を「初日乃うい」が説明する入学試験解説動画を公開しました。映像は試験の解説だけでなく、受験勉強のアドバイスも加わり、受験生に役立つ内容となっています。

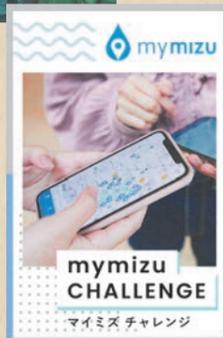
今後も、電ch!を通じて学生と協力しながら広報動画やライブ配信など、大学の魅力を活発に発信してまいります。



「初日乃うい」制作風景

02 女子学生目線でマイボトルの活用を呼びかける

- ▶ 法人名 甲南女子学園
- ▶ 大学名 甲南女子大学



上/甲南女子大生が等身大のアイデアを紹介
下/スマホアプリを使った「mymizuチャレンジ」

アプリで確認し、プラスチックごみ削減目標の達成に向けて取り組むチャレンジです。産学官連携による「mymizuチャレンジ」は国内初の試みになります。本学部95名、全10チームのゼミ対抗で削減量を競い合い、ペットボトル削減を目指しました。さらに実施後、参加者にアンケートを行い、チャレンジ前後の意識変化を調査しました。「環境に対する意識をより深めることができた」「マイボトルを持ち歩く良いきっかけになった」「今後も使い続けたい」という意見が多く、将来的には市民参加型のチャレンジへと広めていく予定です。

次に、特設サイト「神戸、イマどき、マイボトル。」にて、甲南女子大学の学生たちが考えるマイボトル生活のアイデアをご紹介します。例えば「ごほうびマイボトル」という視点。1本150円のペットボトルを週に5本(240本/年)削減した場合、年間約36,000円程を節約できます。節約できたお金は、アクセサリや洋服、国内旅行の資金にまわせるのです。サイトには日常にマイボトルを取り入れたい女子大生らしい視点と提案が記されています。

マイボトルを持つことが当たり前となる未来を創造できるよう、引き続き尽力してまいります。

本学では、SDGsでも課題となっているプラスチックごみ削減のためにマイボトル利用を促進する取り組みを行っています。これは、神戸市と象印マホービン株式会社と提携し、「日本で一番マイボトルの似合う街、神戸」を目指そうというものです。

背景には環境問題があります。現在、海に流出しているプラスチックごみの量は、世界全体で少なくとも年間800万トンあり、このまま対策をとらなければ、2050年には魚の重量を上回ると予想されています。中でも日本で深刻なのが使い捨て容器包装。1人あたりの廃棄量はアメリカに次いで世界2位です。いま私たちの生活習慣の見直しが求められています。

この活動は、SDGsの「目標12: つくる責任 つかう責任」「目標13: 気候変動に具体的な対策を」「目標14: 海の豊かさを守ろう」「目標17: パートナリシップで目標を達成しよう」に寄与します。

具体的な取り組みとしては、一般社団法人Social Innovation Japanが提供している無料給水スポット案内アプリ「mymizu(マイミズ)」を使った「mymizuチャレンジ」を行いました。これは、マイボトル等を使用した給水行動によって、削減できたペットボトルの本数やCO₂排出量をmymizu

立教大学は、2021年度から対面型授業を増やすため、新型コロナウイルス対策をさらに強化しています。換気設備の整備工事、口の動きが見える透明マスクの配布、ミックス型授業等で活用するカメラ付きスピーカーフォンを含めたマルチメディア機器設置などの環境整備を、約3.7億円かけて実施しました。

2021年度も6月までは緊急事態宣言の発出により人流抑制を要請され、やむをえずオンライン授業が中心となりましたが、1年次必修の言語科目など、対面授業の割合を大幅に増やすにあたり、キャンパス内のクラスターの発生を防止するため、アルコール消毒液の設置や入構時の検温など従来の感染対策に加えて、上記の対策を実施しました。

この対策を大きく分けて3点ご紹介します。まず、1点めとして、約2.8億円をかけて換気設備工事を実施しました。適度な室温を保ちつつ、厚生労働省が推奨する1人1時間あたり30立方メートルの換気機能を持つ全熱交換機「ロスナイ」(三菱電機株式会社)などを、換気設備のない教室のほぼ全てに設置しました(一部教室のみ今夏に工事予定)。

2点めに特殊な化学的防曇処理をしたフィルムと不織布を組み合わせた特殊な

透明マスク「ルカミィ(Lookatme)」(株式会社栄商会)を約9,000個購入しました(約940万円)。このマスクは透明なマスクですので、全学共通科目の言語科目などで発音時の口の動きを見ることが可能になります。

さらに3点めとして、基礎疾患などの理由で対面授業に参加できない学生がオンラインで参加するミックス型授業(ライブ参加型、オンデマンド型など)の増加に備え、ほぼ全ての教室(約270部屋)に、カメラ付きスピーカーフォンやディスプレイなどのマルチメディア機器を整備しました(約8,500万円)。また、機器操作等をサポートするアシスタントとして、大学院生や学部学生に協力いただいております。

コロナウイルス対策は上記以外にも実施しています。現在キャンパス内は入構を制限しており、アポイントが無い限り基本的に学外の方は入構できないようになっています。図書館については1日あたりの入館者数を制限しております。さらに在学生在が入構の際は検温とともに、学生証で認証を行い、入構状況を管理しています。

学生と教員が安心して対面授業を行えるよう、適宜見直し、改善を図りながら対策を行い、対面での授業と感染対策を両立していきます。

03 対面授業に向け3.7億円規模のコロナ対策を実施

- ▶ 法人名 立教学院
- ▶ 大学名 立教大学



上/換気設備の整備工事
下/マルチメディア機器を設置

知らぬ間に脳と体を蝕んでいく……

「睡眠負債」を溜めずに生産性UP!

皆さんは最近注目されている「睡眠負債」をご存じでしょうか？

自覚なしに睡眠不足が積み重なった現代病です。その正体と改善策に迫ります。



枝川義邦 (えだがわ・よしくに)
早稲田大学理工学術院教授。脳神経科学者。98年、東京大学大学院薬学系研究科博士課程修了、博士(薬学)。07年、早稲田大学ビジネススクール修了、MBA。早稲田大学高等研究所などを経て、20年から現職。一般向けの著書は「タイプがわかればうまくいく! コミュニケーションスキル」(総合法令出版)、「脳が若い人」と「脳が老ける人」の習慣」(明日香出版社)など。

病気のリスクを高め、経済にも打撃を与える

徹夜すれば、翌日に体がきついのは、誰にでもわかります。一方で、1~2時間の睡眠不足が数日続く程度なら、多少眠気が残っていても、気にしない人が多いでしょう。ところが、睡眠不足はその都度、体に負担を与えていて、積み重なると、ダメージが“借金”のように、脳や体に蓄積されてしまう—それが睡眠負債です。

日本は世界と比較して睡眠時間が短く、労働生産性が低いといわれています。睡眠不足の状態では、集中力や思考力が落ちて、仕事のパフォーマンス低下につながりかねません。2016年の米国ランド研究所のレポートによれば、日本人の睡眠不足による経済損失は、国内総生産(GDP)の約2.9%にあたる年間1380億米ドル(約15兆円)に達し、調査対象5カ国(日、米、独、英、加)の中でGDPの損失率が最も高いとあります。

睡眠負債が一定レベルを超えると、重大な病気を引き起こすことも、近年の研究でわかってきました。例えば、睡眠負債が多くなるほど、認知症のリスクが高まります。また、睡眠不足は、糖尿病、高血圧症をはじめ、免疫の働きも低下させます。風邪やインフルエンザのウイル

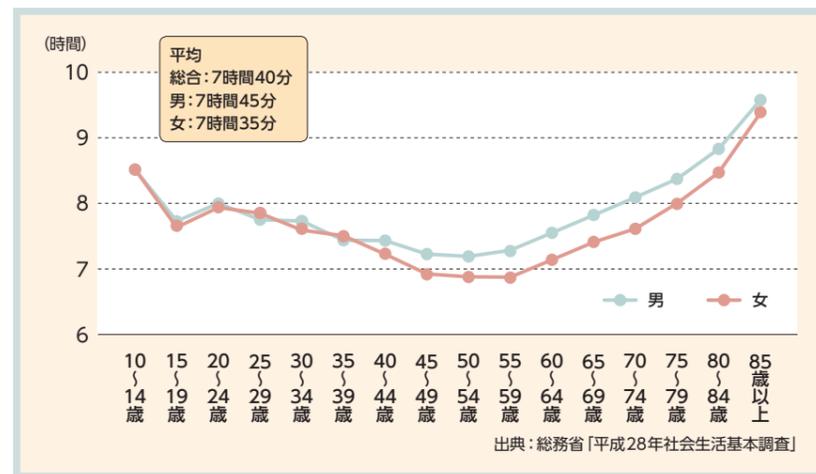
スはもちろん、新型コロナウイルスに感染しやすくなるとも考えられます。睡眠時間が少ない人ほど、がんのリスクが上昇するという研究報告もあります。自治医科大学が4419人の男性を調査したところ、睡眠時間が6時間以下の人は、7~8時間の人に比べて、死亡率が2.4倍に高まることがわかりました。

ショートスリーパーはほとんどいない

睡眠負債の恐ろしさがわかったところで、睡眠負債が知らぬうちに溜まっているかどうかを、自分で確認する方法をご紹介します。

これまでの研究で、個人差はあれど、多くの方の適正な睡眠時間が、1日6.5~7.5時間であることがわかっています。つまり、睡眠時間が6時間未満の人は、睡眠負債が溜まっている可能性大です。なお、5時間程度の睡眠でも健康でいられる「ショートスリーパー」も実際にいますが、遺伝子の影響が大きく、人口の1%未満ともいわれています。「自分は睡眠時間が短くても平気」と言う人のほとんどは、“思い込み”と言えるでしょう。自分の睡眠に問題があるかわからない方は、「目覚めたときにスッキリしない」「起床して3~4時間しか経っていないのに、眠気が起こる」「横になったら、5分も

図表① 日本人の平均睡眠時間(年齢別)



図表② 睡眠負債をセルフチェック

以下のいずれかの項目に該当する人は睡眠負債が溜まっている可能性がある。

- 朝、目覚めたときにスッキリ感がない。
- 起床の3~4時間後でも眠気がある。
- 就寝時、横になってすぐに眠りにつく。

図表③ 眠りの質を高める3つの生活習慣

- 規則正しい生活**
 - 朝に日光を浴びる
 - 昼は体を動かし、夜は暗い場所でリラックス
 - 休日も平日と同じ時間に起床する
- 入浴**
 - 眠る2~3時間前に風呂に入る
 - 39~40℃のぬるま湯に15~20分つかり、深部体温を高める
- 眠る環境を整える**
 - 光、音、匂いなどの強い刺激を遮る
 - 寝室の温度・湿度管理をする
 - 寝汗を吸着しやすいパジャマを選ぶ

経たないうちに寝落ちする」という点が当てはまったら、睡眠負債を抱えている可能性が大きいでしょう(図表②参照)。

では、睡眠負債を増やさないために、どうすればいいのでしょうか? 十分な睡眠時間を毎日確保するのは言うまでもありませんが、“眠り方”にも気を付けましょう。長く床に就いていたのに、「ぐっすり眠れなくて寝不足」という人が、意外と多いのです。睡眠は“量”だけでなく、“質”も重要となります。

メラトニンの分泌を整え 眠りの質を高める

質の高い睡眠のためのキーワードに「睡眠圧」があります。これは深く眠るための力です。そこで、睡眠圧を高めるためのコツもご紹介しましょう(図表③参照)。

1つめは、「規則正しい生活を心がけること」。そうしないと、眠気、睡眠の維持に作用し、生体リズムを整えると考えられる脳内ホルモン「メラトニン」が、正しく働かないからです。休日も平日と同じ時間に起床、就寝するのが望ましいです。休日の夜更かしや寝坊は「平日のプラス2時間まで」にして、月曜日からの生体リズムがスムーズに戻せるようにしましょう。睡眠負債を解消しようと休日に2時間以上遅くまで寝ているとリズムが崩れ、ブルーマンデーの原因になるともいわれています。昼間は明るい場所でよく体を動かし、夜は暗い場所でリラックスするという具合に、生活パターンにメリハリをつけるのがおすすめです。中高年になると、「中途覚醒」が増えますが、明かりを点けたり、水を飲んだりせず、そのまま起き上がらないでジッとしてみましょう。たいいてい再び眠りに落ちるはずですが。

なお、午後10時~午前2時が「美肌作りのゴールデンタイム」などといわれていますが、科学的根拠は希薄です。皮膚の新陳代謝などを促す成長ホルモンは、

就寝後3時間以内に80%が分泌され、この時間帯に質の高い睡眠をとることが重要となります。

2つめは「入浴」です。深部体温が低下すると、眠気が高まる性質があります。眠る2~3時間前に風呂に入ると、深部体温がいったん上昇するのですが、風呂から上がった後、体は手足から放熱して、深部体温が下がるので眠たくなるのです。入浴では、39~40℃のぬるま湯に15~20分つかるようにしましょう。熱い風呂やシャワーでは、体表面は温まりますが、深部体温は上昇しにくいのです。

3つめは、「眠る環境を整えること」。光や音、匂いといった脳への刺激をなるべく少なくします。眠る前にPCやスマートフォンを見てしまうと、画面から発せられる「ブルーライト」が眠りを誘うメラトニンの分泌を抑えるばかりか、その内容が脳を覚醒させてしまいます。強い照明に当たるのも同様です。寝室では、

落ち着いた色のある色の間接照明などを使うとよいでしょう。外からの光や音を遮断する、遮光・遮音カーテンもおすすめです。

寝室の温度や湿度管理にも気を配りましょう。湿度が高いと深部体温が下がりにくくなり、寝付きが悪くなります。汗の塩分も深部体温が下がるのを妨げるので、寝汗を吸着しやすい素材のできたパジャマを着て寝るとよいでしょう。

それでも睡眠不足になり、昼間に眠気に襲われる場合は、思い切って仮眠を取るのが手です。ただし、30分以内にしましょう。それ以上眠ると、眠りが深くなり、目覚めにくくなるからです。寝る前にコーヒーを飲めば、20~30分でカフェインが効いてくるので、スッキリと起きられます。

ご紹介した快眠法で睡眠負債を溜め込まないようにして、健康を守りながら、仕事の生産性を高めていきましょう。

新交付率及び第12次掛金率の適用について

2022(令和4)年4月1日より新交付率及び第12次掛金率が適用となります。

当財団では、新交付率等を適用するにあたり、2021年3月に通知及び説明動画配信により改正内容をご案内してまいりました。6月より新交付率に対応した退職資金の試算機能(シミュレーション)をt-マネージャで公開しています。交付率の選択(変更)を希望する維持会員は8月31日までに所定の様式でお申し出ください。
→BILANC vol.24参照

第12次掛金率は2022年度から2024(令和6)年度までの適用となります。9月初旬に、8月末までの交付率の選択の申出状況を反映した2022年度の補正掛金率の試算値を維持会員へご案内いたしますのでご確認ください。なお、12月初旬には2022年度の維持会員ごとに適用する掛金率を決定する予定となっております。詳細は決まり次第、事務担当者専用ページにてお知らせします。

11月に新交付率、第12次掛金率等についての業務説明会の開催を予定しています。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、中止もしくは開催日程・方法の変更となる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

退職金等に関する実態調査の実施について

毎年度実施しております退職金等に関する実態調査を、本年度も9月に行う予定となっております(令和3年度退職金等に関する実態調査)。本年もご協力のほど、よろしくお願いたします。

本調査は、退職金の支給状況(支給水準、退職金の算定基礎額等)、退職給与引当特定資産の保有割合、定年制度の実施状況等について、全ての会員を対象に実態調査を継続的に実施しています。私立大学等における退職金制度の充実、改善に生かすことが本調査の目的です。現在の形態となった2004(平成16)年度調査以降、毎年度全維持会員からご回答いただいております。

これまでの実態調査の結果(「実態調査報告書」)は、学校法人の退職金制度の改善や関連分野における調査研究に資するために、当財団のWebサイトにて、バックナンバーを含め公開しています。ぜひ、ご活用ください。



「実態調査報告書」URL
<https://www.shidai-tai.or.jp/researchreport/>
※トップ画面右上のMENUから「広報活動」 「実態調査報告書」を選択してください。

新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた体制について

当財団では、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて、感染拡大防止のために、在宅勤務を推進する

など業務運営体制の見直しをさせていただいております。電話対応等でお待たせしてしまう場合もございますので、事務担当者専用ページの「よくある質問」やEメールでのお問い合わせをご活用ください。

皆さまのご理解・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

t-マネージャの帳票のファイル形式が変更になります

維持会員の皆さまにご利用いただいている「退職資金申請システム(t-マネージャ)」の利便性をさらに高める取り組みを進めております。

変更点は、皆さまにご提供している各種通知帳票がPDF形式の電子帳票になる点です。現在、これに対応するシステム更改を実施しており、公開予定日は2021

(令和3)年9月21日となっております。

また、この変更に伴う説明動画の配信及び利用手順書の更新を9月に予定しています。なお、帳票のレイアウトには変更はありません。

今後も皆さまのご利用時に混乱をきたさぬようご案内を続けてまいります。

疑問やご質問などありましたら、お気軽に当財団までお問い合わせください。

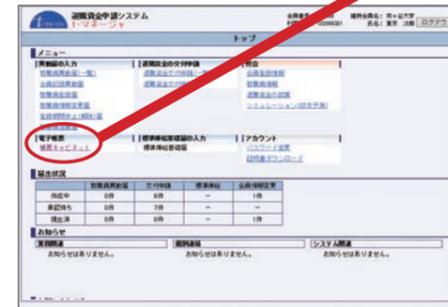
※ PDFファイルの閲覧環境等、詳細につきましては、後日事務担当者専用ページでご案内します。



t-マネ君

改良点

- ご利用のパソコンに電子帳票をダウンロード、保存することができます。
- ご担当者さまの使い慣れたPDF閲覧ソフトを利用できます。
- 過去の電子帳票もPDF形式で閲覧できます。
- パソコン入れ替え時の設定が簡単になります。



t-マネージャ・トップ画面。
「電子帳票」欄の「帳票キャビネット」をクリック。



変更後の「帳票キャビネット」のイメージ。

編集後記

本年6月、小原芳明理事長のもと2期目となる新たな運営体制がスタートしました。

この間、新型コロナウイルス感染症拡大という、これまで経験したことのない状況下にあっても進めてきた改革への取り組みを継続するとともに、当財団の安定かつ確実な事業運営に向けて、役員一同、総力をあげて励んでまいりますので、今期もご支援を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

げます。

今号の主な内容は、2020年度の事業報告・決算のほか、ニューノーマル時代における学び方や働き方、厳しい現状・環境をチャンスに変えていく取組事例など、通常よりもボリュームのある構成としました。どうぞ、ご関心、ご興味のあるテーマからご覧いただき、少し時間をかけて誌面全体をお読みいただければ幸いです。(も)

未来のために、 私学とともに



教職員の待遇の安定と向上のため、学校法人の経営を
支援することにより、広く社会に貢献しています。

当財団の退職資金交付事業は、教育基本法の趣旨に則り、私立大学等教職員と国公立大学等教職員との待遇の均衡を図り、安心して教育研究活動に専念できる環境を確保することを目的としています。国は、この事業が広く社会全体に貢献していることから、学校法人が納入する掛金を助成の対象とし、私立大学等に直接補助しています。

●法人情報(2020年度)

加入法人数……………**594**法人
月平均登録者数……………**13万7319**人
経常収益……………**751**億円
経常費用……………**745**億円
準備資産……………**1331**億円

